

## 脱炭素社会と資源循環型社会の実現に貢献するため SBT イニシアチブ「1.5°C 目標」の認定を取得

廃油の収集・処理からトータルリサイクルまでをリードする株式会社 TOAシブル（本社：千葉県八千代市、代表取締役：安池 慎一郎、以下「TOAシブル」）は、この度、2030 年度の温室効果ガス削減目標について、国際的団体である「SBT イニシアチブ」※<sup>1</sup>から、気候変動による世界の平均気温上昇を産業革命前と比べ 1.5°C に抑えるという、「1.5°C 目標」の認定を受けました。

環境省によると 2023 年 3 月 1 日現在で、認定取得済の企業は世界で 2,304 社（うち日本企業 224 社：中小企業）が認定を受けています。

### ■ TOAシブルの温室効果ガス削減に向けた取り組み

2020 年を基準として

- ① 場内で使用する車両や重機の稼働に伴うエネルギー消費
- ② 産業廃棄物の焼却に伴うエネルギー消費
- ③ 全事業所の稼働に伴う都市ガス消費
- ④ 全事業所の稼働に伴う電力消費

この4項目を **2030 年までに 42%削減すること** を目指します。

TOAシブルは「自然と共に生きる未来を創造する」というビジョンに基づき、廃棄物を有用資源として活用したリサイクル燃料(再生重油・再生燃料・固形燃料)の製造と供給により循環型社会の構築に貢献し、より一層自然エネルギーの活用促進や二酸化炭素排出の抑制活動に取り組むことで、気候変動による様々な問題を解決し「地域社会に安心・安全を」提供し続けてまいります。



※1 Science Based Targets initiative (SBTi) 温室効果ガスの増加による問題を解決するため、CDP (旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) が設立した共同イニシアチブ。企業に対し、気候変動による世界の平均気温の上昇を、産業革命前と比べ 1.5 度未満に抑えるという目標に向けて、科学的知見と整合した削減目標を設定することを推進している。

目標認定企業一覧は下記サイトに掲載されています。(すべて英語表記)。

<https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action?target=1.5%C2%B0C&country=Japan&ambitionToggle=1#table>

「本件に関するお問い合わせ」

株式会社 TOAシブル 広報室

MAIL:[press@toaxible.com](mailto:press@toaxible.com) TEL:047-400-7100 FAX:047-482-7090

